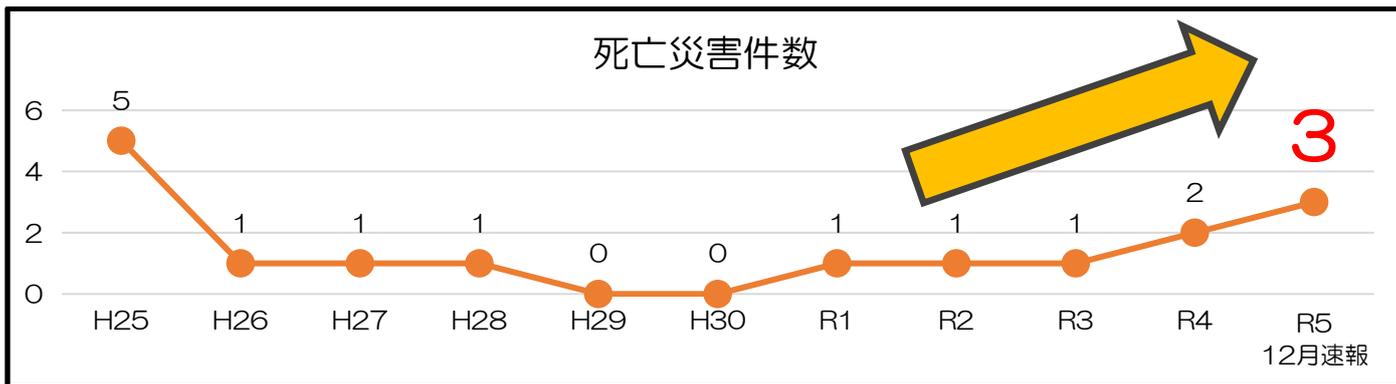




死亡災害が多発です！

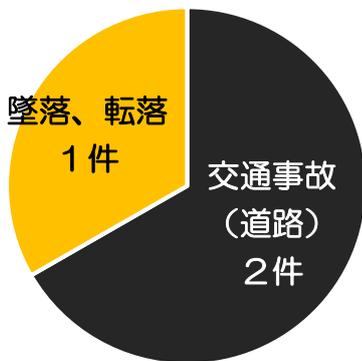
新見署管内で、死亡災害が
令和5年は3件発生
(12月速報)

3件以上は平成26年以来最多



新見労働基準監督署の管内において、令和5年は死亡災害が3件（12月速報）発生しました。3件（「交通事故（道路）」2件、「墜落、転落」1件）以上の発生は10年ぶりであり、近年増加傾向にあります。特に交通事故は、岡山労働局管内でも直近10年で最多となっています。

<令和5年死亡災害発生状況>



業種	災害発生状況
建築工事業	自社車庫及び駐車場建設工事の現場でフォークリフトを使用するため、公道上を自走移動中、下り坂（傾斜約7度）で蛇行し、フォークリフトごと横転。ヘッドガードと路面に胸部を挟まれた。
木造家屋建築工事業	解体工事現場から、4tトラックに解体廃材を積んで帰社中、長いつづら折りの坂を下っていてブレーキが利かなくなり、ガードレールを突き破って転落した。
一般貨物自動車運送業	自社場内で車両の洗浄中、キャビンと荷台の間の点検台上に、可搬式作業台を置き、作業をしていたところ、可搬式作業台の脚部が外へ動き、地面へ転落した。

交通事故 対策チェックリスト

- 走行の開始・終了や経路についての計画を作成している。
- 疲労、飲酒、睡眠不足などで安全な運転ができないおそれがないか、乗務開始前の点呼によって確認している。
- 荷を積載するとき、最大積載量を超えず、偏荷重が生じないようにしている。
- 交通事故発生状況などを記載した交通安全情報マップを作成している。
- 交通労働災害防止のための管理者を選任し、目標を定めている。
- 「交通危険予知訓練による安全確保」や「十分な睡眠時間の必要性」等について、雇い入れ時などや日常の安全衛生教育を実施している。



死亡災害発生件数が多発しています！
交通労働災害を防止しましょう

令和5年、岡山労働局管内で発生した労働災害のうち、死亡災害は10件発生し、そのうち交通事故によるものが2件発生しています。交通事故による労働災害は、近年増加傾向にあります。交通安全情報マップを作成し、交通安全意識を高めることが重要です。

死亡労働災害発生状況

令和5年 死亡労働災害発生状況の内訳（速報値）

業種別：一般貨物自動車運送業 2件、建設業 1件、製造業 1件、その他 1件

発生場所：公道 2件、自社敷地内 0件、その他 1件

発生原因：運転操作 2件、歩行 0件、その他 1件

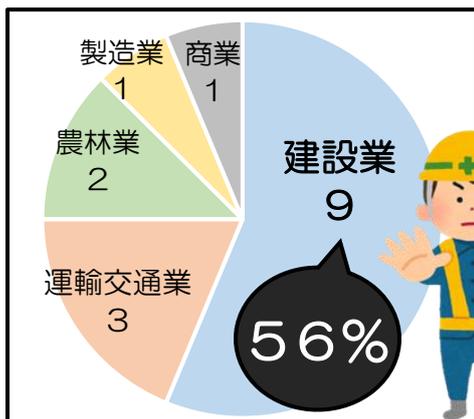
発生時間：昼間 2件、夜間 0件、その他 0件

発生場所・発生原因・発生時間別の発生状況



岡山労働局
HP 交通労働災害防止

平成25年以降の死亡災害発生状況

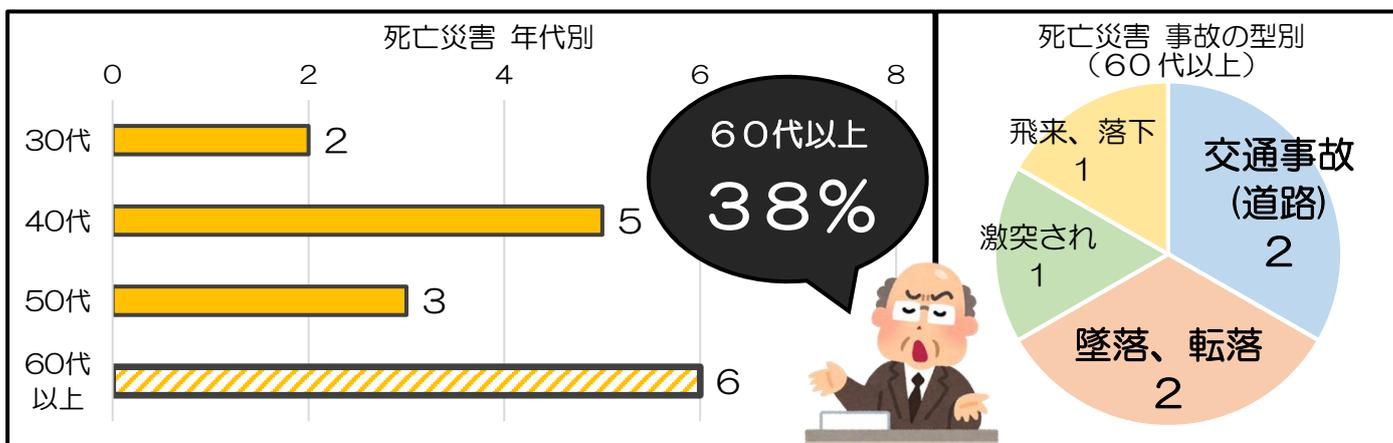


	激突され	交通事故（道路）	墜落、転落	飛来、落下	崩壊、倒壊
建設業	1	3	2	2	1
運輸交通業	2	0	1	0	0
農林業	1	0	1	0	0
製造業	1	0	0	0	0
商業	0	1	0	0	0
計	5	4	4	2	1

死亡災害は、56%が建設業で発生しており、その事故の型は「交通事故（道路）」、「墜落、転落」、「飛来、落下」が多い状況です。交通事故は、トラックや自動車等だけでなく、フォークリフトでも起こっているため、運転のときにはシートベルトの着用等、より一層の注意が必要です。また、その他の多くの業種でも死亡災害が発生しています。

全業種における事故の型別では、「激突され」が5件で最多であり、「交通事故（道路）」、「墜落、転落」が4件と続いています。特に「激突され」の起因物は、トラックが3件で最多となっています。適切な作業計画をたて、作業者とトラックが交錯しないように作業をしましょう。

60代以上「交通事故」と「墜落」による死亡が多発



年代別では、死亡災害のうち、高齢労働者（60歳以上）が占める割合が38%に及びました。このうち、事故の型別では「交通事故（道路）」、「墜落、転落」が各2件で最多です。起因物には、「乗用車」や「可搬式作業台」といった身近なものもあり、危険性の再認識が必要です。

一般的に、高齢労働者は加齢に伴って身体・精神機能が低下することから、それによる労働災害発生リスクの低減の視点を踏まえて対策を進めていくことも重要です。

高齢労働者 安全衛生統括管理チェックリスト

- 高齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針の表明を行っている。
- 高齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策を推進する計画を策定している。
- 加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高齢労働者の安全衛生対策の検討を行っている。
- 高齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている。

厚労省 HP
高齢労働者の安全衛生対策について

